

2012 年 4 月 27 日

調査報告書

- 1 とき：2012 年 4 月 27 日
- 2 行先：大阪市役所（大阪エネルギービジョン）
- 3 参加者：田口一登、山口清明、政務調査補助員（柘植・浜田）
- 4 主な内容

大阪市役所・環境局環境施策部エネルギー政策担当兼計画調整局調整部 夢洲・咲洲地区調整担当徳本課長と環境局環境施策部エネルギー政策担当井上課長より「大阪市エネルギービジョン」のレクチャーを受けた。

次代エネルギー施策調査で、大阪市は 1、太陽光発電 2、バイオマスが適し、風力・小電力は条件が適さないと判断。創エネ、新エネ、畜エネ、総合、省エネと施策を分け計画している。

- ・創エネ⇒夢洲 1 区に 10 MW 規模のメガソーラーを計画。20 年間で 80 億円(42 円の売電価格)の利益予定。
- ・新エネ⇒大阪市立大学が CO₂ を固定させエタノールをつくる研究
- ・蓄エネ⇒電気自動車に安全パトロール車として 24 台、公共駐車場に充電所の設置、エディパワー(移動式)も導入
- ・総合⇒咲洲スマートコミュニティ実証事業を計画中、24 年より開始。中小企業チャレンジ会社への補助。市営住宅建て替え高層化により余った土地を「エコ住宅誘致」とし、安く土地を提供する。
- ・省エネ⇒エコポイント、スマートメーターの設置などで一般家庭の省エネ意識を高める